

船舶事故調査報告書

令和3年10月6日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和2年12月29日 14時35分ごろ
発生場所	大阪府田尻町西方（マーブルビーチ）沖 大阪府岡田港沖防波堤北灯台から真方位049° 1,900m付近 （概位 北緯34° 24.2′ 東経135° 17.3′）
事故の概要	プレジャーボートBerneseは、北東進中、浅所に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和3年1月6日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート Bernese、4.0トン
船舶番号、船舶所有者等	250-57944大阪、マリン大阪株式会社
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊
負傷者	なし
損傷	船底部に擦過傷
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西北西、風力 1、視界 良好、気温 11.6℃ 海象：波高 0.5m、潮汐 上げ潮の中央期
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、マリナーに向けて釣り場を発進し、約20ノットの対地速力で北東進した。</p> <p>船長は、後部の扉を閉めた操舵室で、舵輪後方に備えた背もたれのある椅子に腰を掛けて操舵に当たっていたところ、眠気を催し、その後居眠りに陥った状態で北東進中、マーブルビーチ沖の浅所に乗り揚げた。</p> <p>船長は、衝撃を感じて目を覚まし、乗り揚げたことに気付き、本事故発生の118番通報を行った。</p> <p>船長は、本事故前日、仕事が忙しく夜遅くに就寝し、本事故当日、早朝に起床したので、睡眠時間が不足した状態であり、閉め切った操舵室で厚着をして暖かい状態として楽な姿勢で操舵に当たっていたので、眠気を催したと本事故後に思った。</p> <p>本船の喫水は、船首約0.5m、船尾約1.0mであった。</p>
分析	本船は、北東進中、船長が、睡眠時間が不足した状態で眠気を催した中、閉め切った操舵室で厚着をして暖かい状態として楽な姿勢で操舵に当たっていたところ、居眠りに陥り、浅所に向かって航行を続けたことから、浅所に乗り揚げたものと推定される。
原因	本事故は、本船が、北東進中、船長が居眠りに陥り、浅所に向かって航行を続けたため、浅所に乗り揚げたものと推定される。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考え

られる。

- ・眠気を催した場合、外気に当たるなど、眠気を払拭する行動をとって操舵に当たること。